

2025/12/24

SDGS 万博市民アクション 持続可能な調達分科会  
<https://sdgs-expo.am-net.org/>

ウータン・森と生活を考える会  
NPO 法人 AM ネット  
一般社団法人 熱帯林行動ネットワーク(JATAN)

私たちは長年森林問題に取り組む NGO として、持続可能性の視点から大阪・関西万博の物品調達の基準「調達コード」を注視してきました。

閉幕後の最終レポートについて提案を、SDGs 万博市民アクション 持続可能な調達分科会として、博覧会協会に本日 12/24 に送付いたしましたので、お知らせいたします。

今後の大規模イベントの調達コードの制度発展のため、万博で調達した大量の物品が持続可能な調達ができているか、最終レポートに記載すべき具体的な提案です。

大阪・関西博覧会協会、大阪府・市、横浜グリーンエキスポ事務局に送付し、提案いたします。  
ぜひご覧ください。

#### 【参考】

私たちは調達コードについて過去2回、博覧会協会に提案・要望を送り、NDPE(森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止)ポリシー策定やデュー・デリジェンスの実施など、より野心的な目標を定めることや、採用された認証制度の比較や問題点、苦情情報(グリーバンス・システム)や調達先のサプライヤー情報開示の重要性を指摘してきました。

① EXPO 2025 大阪・関西万博持続可能性に配慮した調達への提言 2024/10/29  
[https://sdgs-expo.am-net.org/recommendations\\_sustainability/](https://sdgs-expo.am-net.org/recommendations_sustainability/)

② EXPO 2025 大阪・関西万博持続可能性に配慮した調達への提言 2025/2/15  
[https://sdgs-expo.am-net.org/notice\\_20250215/](https://sdgs-expo.am-net.org/notice_20250215/)

以上よろしくお願いいたします。

■SDGs 万博市民アクション <https://sdgs-expo.am-net.org/>

# EXPO 2025 大阪・関西万博 持続可能性に配慮した調達 最終レポートへの要望

2025 年 12 月 24 日

SDGS 万博市民アクション 持続可能な調達分科会

<https://sdgs-expo.am-net.org/>

ウータン・森と生活を考える会

NPO 法人 AM ネット

一般社団法人 熱帯林行動ネットワーク(JATAN)

【連絡先】石崎(ウータン)contact-hutan@hutangroup.org

武田(AM ネット)info@am-net.org

私たちは長年森林問題に取り組む NGO として、持続可能性の視点から大阪・関西万博の調達コードを注視してきました。私たちはパーム油・紙・木材を対象とし、2024 年 2 月、2024 年 10 月の二度にわたり、大阪万博の調達コードへの提案および提言を提出しています。

NDPE(森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止)ポリシー策定やデュー・デリジェンスの実施など、より野心的な目標を定めることや、採用された認証制度の比較や問題点、苦情情報(グリーンバンス・システム)や調達先のサプライヤー情報開示の重要性を指摘しました。

EXPO 2025 大阪・関西万博 持続可能性に配慮した調達コードへの提案(2025 年 2 月)

[https://sdgs-expo.am-net.org/notice\\_20250215/](https://sdgs-expo.am-net.org/notice_20250215/)

2025 年 6 月の持続可能な調達ワーキンググループでも、通報受付窓口や SUS パトロールへの提言がなされるとともに、「最終報告書について、可能な限り情報を丸めず示してもらいたい。例えばパーム油、水産物、農産物等について、最終的にどういった結果だったのかという部分について、量や金額ベース等、様々な示し方があると思うが、出来る限り細かい数字があれば今後の類似イベントにも役に立つのではないか。」との意見がありました。

<https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/251023-r1-1-1.pdf>

今回、最終報告書が万博協会から出されるにあたり、今後の大規模イベントの調達コードの制度発展のために、以下の点を含めることを要望します。

【要望】以後の大規模イベントで更なる持続可能な調達が可能となるよう、持続可能性行動計画(最終報告書)において、調達された全物品の以下の項目を盛り込むよう要望いたします。

- 1 全ての調達材の量(重量ベース)
- 2 調達材が取得していた認証の種類とそれぞれの割合(重量ベース)、および非認証物の割合
- 3 認証を取得していなかった場合、パーム油は別紙の内容(p.40)を確認したはずだが、実際どのように確認を行って確認をしたのか、運用方法と共に、その結果(確認ができたのかどうか、その確認結果)
- 4 調達先の国について、1 次サプライヤーだけではなく 2,3 次サプライヤーまでご説明ください。
- 5 (パーム油の場合)調達した油のミル情報
- 6 サスパトロールの実施および処理結果
- 7 上記の結果に対する、博覧会協会の評価および外部レビュー
- 8 事業者の意識や取組向上の因果関係のわかる事例および遵守した企業の割合
- 9 グリーンバンスの通報が 4 件という結果に対する分析評価
- 10 万博史上初となる人権デュー・デリジェンス(DD)実施への評価

最後に、報告書が完成した際には事業者や自治体、NGO、消費者団体などを交えた公開報告会の場を設け、次なる大規模イベントの持続可能性をさらに高める学びの場をすることを要望します。ご多忙のところ恐縮ではありますが、書面での回答をいただくよう要望します。